

# 青森県議会議員全員協議会記録

## ◎ 開催案件

一、共同経営・統合新病院に係る整備場所の比較検討資料について

令和六年七月二十二日（月）午前十時五十九分開議

開催場所 議場

出席議員 四十六名  
議長 丸井 裕

大澤 祥宏	夏坂 陽修	大平 陽子	夏堀 嘉一郎	井本 貴之	成田 陽光	福士 直治	小比類 巻正規	花田 栄介	蛭沢 正勝	川村 悟	夏堀 浩一	丸井 裕	三橋 一三	鹿内 博	田中 順造
	後藤 清安	北向 由樹	小笠原 大佑	工藤 貴弘	大澤 敏彦	鶴賀 谷貴	木明 和人	谷川 政人	寺田 達也	安藤 晴美	工藤 慎康	山谷 清文	山田 知	清水 悦郎	田名部 定男
	吉田 ゆかり	田端 深雪	斉藤 孝昭	高畑 紀子	工藤 悠平	吉俣 光洋	大崎 光明	菊池 勲	齊藤 爾博	今藤 博	高橋 修一	榎引 ユキ子	伊吹 信一	工藤 兼光	阿部 広悦

欠席議員 二名  
森内 之保留 和田 寛司

出席事務局職員

局長 田中道郎	次長 石岡勇一
議事課長 角田正人	副参事 鳴海康
総括主幹専門員 中野 弥寿喜	主幹 荒井 千万人
主査 渡邊 愛実子	主査 中畑 祥将

出席説明員

知事 宮下 宗一郎	副知事 小谷 知也	副知事 奥田 忠雄	健康医療福祉部長 守川 義信	県土整備部長 古市 秀徳	危機管理局長 豊島 信幸	病院事業管理者 大山 力	病院局長 荒関 浩巳
-----------	-----------	-----------	----------------	--------------	--------------	--------------	------------

○丸井議長 ただいまより議員全員協議会を開催いたします。

## ◎ 新任者紹介

○丸井議長 会議に先立ち、新任者を紹介いたします。——奥田忠雄

副知事。

○奥田副知事 おはようございます。去る七月一日付で副知事を拝命いたしました奥田忠雄でございます。

もとより微力ではございますが、小谷副知事と共に宮下知事を補佐し、青森県の発展のため、誠心誠意努力してまいる所存でございますので、議員の皆様には、引き続き御指導、御鞭撻のほどよろしくお願いたします。

◎知事説明

○丸井議長 共同経営・統合新病院に係る整備場所の比較検討資料について、知事の説明を求めます。——知事。

○宮下知事 おはようございます。それでは私から、共同経営・統合新病院に係る整備場所の比較検討資料について御説明申し上げます。

最初に、これまでの経緯等について御説明いたします。

統合新病院の整備場所については、令和四年八月に取りまとめた共同経営・統合新病院整備に係る基本的事項において、旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地、青森県総合運動公園、青い森セントラルパークの三か所を検討対象地とし、県と青森市の関係部局長で構成する共同経営・統合新病院整備調整会議において検討が進められていました。

私は、統合新病院の整備について、多くの県民の皆様にご納得いただける形で検討が進められるよう、整備場所も含め、その検討過程をできるだけオープンにするため、共同経営・統合新病院整備に係る有識者会議を新たに設置した上で、有識者会議の御意見も踏まえながら検討を進めることとし、検討体制の見直しを行いました。

また、統合新病院の整備場所については、医療従事者、患者やその家族など多くの方が集まる拠点となり、まちづくりの観点等からの検

討が重要であることから、まずは青森市において主体的に検討を進めていただいたところであります。

青森市においては、青森市統合新病院整備場所等検討会議を設置し、三か所の検討対象地に限らず幅広く検討いただいたところであり、そうした検討状況を踏まえ、基本的事項を見直し、検討対象地については、新たに三か所以外の県有地、市有地及び民有地のうち、適当と考えられる場所を追加したところであります。

その後、青森市から御報告いただいた検討概要では、旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地、青森県総合運動公園、青い森セントラルパークのほか、外環状線周辺エリアの四か所について、まちづくり、通院アクセス、救急搬送及び災害関連等の観点ごとに、構成員の意見を整理いただいたところであります。

その上で、統合新病院の整備が望ましい場所について、全構成員十二名中八名が青い森セントラルパーク、二名が旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地、二名が条件付で旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地または青い森セントラルパークを望ましい場所とし、その理由や課題等を御報告いただいたところであります。

この検討概要については、五月二十六日に開催した第四回有識者会議に報告し、御議論いただいたところであります。

その際、有識者会議の多くの構成員から、青い森セントラルパークの交通アクセスに対する懸念が示され、外環状線周辺エリアについて、民有地に限らず、公有地も含めて検討対象となり得る場所がないかを検討し、具体的な場所があるのであれば、まちづくり、通院アクセス、救急搬送及び災害関連等の観点から、青い森セントラルパークと比較するよう事務局に対して求めがありました。

私としては、こうした有識者会議の御意見を受け止め、かねてより全市域を対象に検討を重ねてきたところですが、今般、病院局のみならず、健康医療福祉部、県土整備部、危機管理局など関係部局が連携

し、全庁を挙げて、外環状線周辺エリアにおいて検討対象として提示できる場所について、論点を整理の上、具体化することを指示いたしました。

次に、外環状線周辺エリアにおける検討状況について御説明いたします。

まず、民有地については、青森市の検討会議においても、様々な制約もあり、取得するまで期間を要することが指摘されていたところですので。

改めて、県としても、地権者の状況などを登記情報等に基づき複数箇所について調査したところですが、どの場所も病院建設に必要な面積を考慮した場合、地権者が多く、相続などの可能性もあり、取得までの確実な期間を算出することは困難と考えるものであります。

こうした状況を踏まえ、民有地を検討対象地とすることは、現実的ではないと判断したものであります。

また、県有地と市有地については、これまで既存の建物がない土地、建物の廃止が決まっている土地などを前提に検討してきたところですが、今回、予断を持つことなく、新たに既存建物がある土地について、建物の状況も含めて調査をしたところです。

その結果、今回お示しした浜田中央公園・県営スケート場周辺については、県営スケート場や青森市の屋内運動施設であるサンドームの築年数が相当程度経過し、大規模な改修または建て替え等の時期を迎えることから、施設の移転等と一体で進めることにより、検討対象となり得るものと考えたと考えております。

次に、本日配付した整備場所の比較検討資料について御説明いたします。

まず、一ページから三ページでは、青い森セントラルパークと浜田中央公園・県営スケート場周辺について、面積や圏域人口、想定される地震被災や洪水被災、青森市外からの距離及び到達時間などの基本

データを整理しております。

その上で、四ページから七ページでは、まちづくり、通院アクセス、救急搬送、災害関連などの観点からメリット・デメリットを比較しています。

また、八ページから十三ページでは、有識者会議での御指摘も踏まえ、整備場所の検討に当たって大きなポイントと考えられる洪水被災時の浸水想定、交通量分析の結果、交通渋滞などへの各種対策、各種対策等に要する経費比較、地盤の状況についても比較しております。

なお、本資料の十二ページでお示している各種経費については、他の事例等を参考に試算した現時点での概算額であり、実際の工事施工段階では、その施工内容を含め、変更となる可能性があることに御留意いただきたいと思います。

次に、今後の検討の進め方について御説明いたします。

本日配付した比較検討資料については、昨日開催した有識者会議において説明したところであり、次回有識者会議において、構成員の皆様から御意見を伺うこととしています。

私としては、県議会や有識者会議の皆様の御質問、御意見も踏まえた上で、整備場所の候補地を決定していきたいと考えています。

統合新病院の整備場所については、基本構想・計画策定の前提となるものであります。できるだけ早期に整備場所を決定できるよう、青森市とも協議して取り組んでいきたいと考えています。

また、整備場所の決定後は、基本構想・計画の策定などの準備を進めることとしていますが、基本構想・計画については、県議会の皆様や県民、市民の皆様の御意見を踏まえた上で策定していきたいと考えていますので、議員各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

以上をもちまして、共同経営・統合新病院に係る整備場所の比較検討資料について御説明申し上げましたが、御質問に応じ、本職をはじめ関係者から詳細に御説明申し上げたいと思います。

以上であります。

○丸井議長 以上をもって知事の説明を終わります。

なお、ただいまの説明に対する質疑は、八月九日十時三十分から行うことといたします。

本日はこれをもって終了といたします。

午前十一時九分散会